

大けやきの 瓦版

第2号 2022年11月9日

発行者  入間小のケヤキを
未来につなぐ会
電話 050-3635-2912
メール keyakinomirai1920@gmail.com

大正9年、4人の子ども達が小さなケヤキを見つけて植えました。入間小の校庭に根付いて102年、狭山市の景観地50にも選定された入曾のシンボルです。市の計画に従って伐根が迫っています。旧入間小のケヤキとイオンとの共存を求める署名にあなたの大切な一筆をお寄せください。右のオンライン署名サイトまたは裏面の署名用紙をご利用ください。ご協力をお願いいたします。



さらに詳しい情報は、入間小のケヤキを未来につなぐ会の公式サイト <https://keyakinomirai.com> へ入曾再開発のことは協力している市民団体入曾まちづくりの会 <https://irisomachi.com> もご覧ください

市、樹木医入れ再検討か 11月以降公表へ

第一次署名提出を行った7月以降、狭山市がケヤキの調査に樹木医を入れていることが明らかになりました。これまで伐根の根拠がなかったためそれに対処する意図やケヤキ存続を模索している可能性も指摘されています。

ケヤキの状態を診断していただき、意見を求めています」と答弁しました。また、私たちが請求し開示された公文書や担当課の説明からも、樹勢(木の健康状態)診断や移植の検討、このまま残した場合に必要なことなどを樹木医に調査させていることがわかりました。

市の担当部長は9月20日、市議会
会で「このケヤキを伐採伐根することに
について様々なご意見を頂いていること
から、改めて樹木医に業務委託として、

市民の声が後押し

樹木医の契約は10月末までで、市の担当者は、今後、結果をホームページなどで公表したいとしています。



イオンモール多摩平の森(写真)では公団住宅にあった在来樹約50本を残していて、ケヤキを取り囲んだ建物入り口は来店者の憩いの場になっています。

～地域の木が生きるイオン～

イオンは通常、地域の木を可能な限り残し無理でも移植するとしています。イオンモール東久留米ではグラウンドにあった名木のアカマツを「地域のために」(モール担当者)ほぼ自己負担で管理しています。



開示された樹木医委託に関する公文書

9月市議会 なぜ残さないと追及

9月20日、市議会の一般質問で入間小のケヤキが取り上げられました。衣川議員は、ケヤキ伐根決定に至った経緯を質問し、署名や賛同者の意見を挙げて市の姿勢を質しました。過去にも田中議員、中村議員、町田昌弘元議員が一般質問で問題点を指摘しています。

第2次署名を提出

10月25日、新たに寄せられた署名700筆を第二次署名として市に提出しました。市長への直接提出も予め求めていましたが、面会しないとの回答でした。6月以来寄せられた署名は合計で16,782筆になりました。**署名活動はこれまで通り継続していきます。**

ケヤキは入間小の中だけの思い出に過ぎないとの主張がありますが、決してそんなことはありません。市民も、そして実は狭山市自らも認める財産です。

私たちに、卒業生ではないけれど散歩や買い物の際の風景として親しんでいるという人の声が多く寄せられました。旧入間小の横を車で通勤している、入曾駅を使って通学していた、という入間市や所沢市の人が多いことにも驚かされました。

ケヤキ残したいのはだれ？

狭山市は、緑の基本計画の中で、地域のランドマークとしてや緑化啓発のために保存すべき樹木の高さなどを定めています。入間小のケヤキはこの基準に十分該当しています。また、

市政50周年にまちの財産として策定した狭山市景観地50でも入間地区(当時)の風景の一つとして選定されました。何より、小谷野市長は小3まで入間小に通っていて、5月のコラムでは「今も残るケヤキを何とか残したいと思ったのは地域の皆さんや私だけではないでしょう」とつぶやいています。

ポイント解説

狭山市長 小谷野剛 様
狭山市都市建設部市街地整備課 御中

旧入間小のケヤキとイオンの共存を求める署名

私たちは狭山市長と狭山市都市建設部市街地整備課に対して、下記の事項を請願します。

請願事項

入間小跡地のケヤキの立ち木の伐根中止と現位置での保存・活用を前提に、複合商業施設の設計変更やケヤキの管理方法等についてイオンリテール株式会社との協議を開始すること。

お名前	ご住所
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

署名の注意点

- (1) この署名は**年齢や住所を問わず**、どなたでも参加できます。
- (2) 原則**ご自身の直筆**でご署名ください。**住所は「〃」を使用せず**最後まで正確に記入してください。印鑑は不要です。
- (3) 署名が終わりましたら、署名用紙を会の**事務局宛てに郵送**していただくか、JAフリースタイル入間店（入曽駅近くのAコープ）に**設置の回収ボックスに投函**してください。
※ **オンライン署名**サイト Change.org ですでにキャンペーン「旧入間小のケヤキとイオンの共存を求めて」に**賛同した方は、本用紙では署名しないでください**。ご協力ありがとうございました。
※ 5筆を超えて署名する場合、この署名用紙を予めコピーして利用していただくこともできます。
※ 頂いた個人情報**は署名の目的以外には使いません**。提出まで原紙のまま厳重に保管管理します。

連絡先



入間小のケヤキを
未来につなぐ会
協力：入曽まちづくりの会

電話番号 050-3635-1920 (代表 福住)
Eメールアドレス keyakinomirai1920@gmail.com

住所 狭山市水野 147-117 (事務局)